1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

現在の世界を A 紐解くキーワードは、「二元論」と「排中律」ではないだろうか。社会を回すのに、不可ケツなコンピュータはゼロとイチで成り立っているし、ロシアのウクライナ侵攻や、イスラエルとパレスチナの聖地エルサレムを巡る争いも、結局は敵か味方かという世界観ゆえに起きる話である。白か黒か、その「あいだ」がないからこそ、戦争や紛争という極端な手法が採られているのだ。アメリカのバイデン大統領はロシア・ウクライナ戦争に際して「民主主義と権威主義の戦い」という図式を用いているが、本来の世界はそれほど単純に理解できるはずがない。

二元論も排中律も、西洋近代から生まれた世界観である。しかし、いまだ行き詰まっているわけで、そこで目を向けるべきなのは、日本の「容中律（肯定でも否定でもない）同時に、肯定でも否定でもあるという論理）」や、中ヨウの思想ではないだろうか。それは「あいだ」あるいは複数の世界を一緒に捉える「見立て」という考え方も通じる。

思い返してほしいのが、日本の自然観である。われわれは人が住む世界と山や森、海などの自然を一本の境界線で区切っていない。たとえば里山や海岸は「あいだ」といえる世界で、そこで山や森に住む神の遣いと出会うと考えられてきた。浦島太郎が、竜宮城に連れて行ってもらう亀と出会うのも海岸である。川も「あちら」と「こちら」のいずれにも属すると考えられ、あえて橋の上を選んで、商談をしたり駆け落ちのために待ち合わせたりされてきた。「あの世」と「この世」のあいだにも三途の川が流れ、六文銭を渡し賃として出さなければいけないとの言い伝えがある。日本家屋の縁側も「あいだ」の典例で、家の中でも外でもない場所だ。そこで客人を迎えて茶を飲んだり、碁を打ったり将棋を指したりされてきたし、生産性や効率性に追われた現実社会から解き放たれた X の場所でもあった。

このように、日本には二つの世界を合わせる「見立て」の思想が日常に散りばめられている。芸事に例を見出せば、人形浄瑠璃が象徴的であろう。西洋で人形といえば、あくまでも人間のミニチュア版である。しかし人形浄瑠璃では、三人で一体の人形を遣い、まさに人間のドラマを演じる。歌舞伎では個性ある人間が役を演じるし、無論、舞台上で本当に人を殺めるわけにはいかない。他方で人形浄瑠璃は人形であればこそ、あらためて世界の恐ろしき出来事や人の性を投影することができる。そしてわれわれ観客は、言わば Y パラレルワールドとして、人形が織り成すドラマを認めて心を打たれるのだ。

パラレルワールドを表現する文化は、日本には昔から存在する。鳥羽信正が作者とされる「鳥獣人物戯画」は漫画の元祖として有名だが、ウサギやカエルが動物の姿をしながら人間としても描かれている。日本庭園も、神あるいは君主の視線に立ってつくられた西洋の庭園とは異なり、見渡すのではなく歩きながら自然と対話する場所として考えられている。だからこそ、龍安寺の

石庭が山や川に見立てられるのであり、それを可能にするのが日本人の情緒の為せる業だ。^{わざ}

いまこそ日本が世界に発信すべき価値観として強調したいのが、われわれは「戦う宗教」を選んでこなかったという点だ。日本では^ウ明治イ新まで神仏習合という宗教現象があったし、いまでは皆が十二月二十五日にはクリスマスチャンになり、一週間も経たないうちに仏教徒になり、その数時間後には神社を訪れる。じつに不思議な民族だが、これはわれわれが宗教を「文化」として^a享受しているからであろう。西洋の宗教は倫理や道徳と結びついているが、日本人の道徳の多くは神道や仏教ではなく儒教にかたちづくられている。

キリスト教のカトリックとプロテスタントが殺し合いを繰り返したり、十字軍を結成して遠方の征服を試みようとしたりした歴史は近代まで日本にはない。領土を広げることをする西洋の人びとは、いつしか戦いを正義と捉えて、諸外国への侵略に明け暮れた。

^ウ翻って日本に目を向ければ、十七世紀からいわゆる「鎖国」の時代を迎えていた。私は日本史の専門家ではないが、そのうえで申し上げれば、この鎖国という政策は、現在の世界に大きなヒントを与えてくれるのではないか。

われわれはいま、リサイクルや節約を大きなテーマに掲げている。他方で江戸時代の日本は、食べ物もエネルギーも自給自足し、国内で^エ循環させていた。そうして三〇〇〇万人の暮らしが支えられていたわけで、現在の日本も少なくともそれだけの国民を養う力は有しているはずだし、最新の科学技術を加えればさらなるポテンシャルが備わっているのは明白だ。本来であれば自給自足はもちろんのこと、発展途上国に食料を配るべき立場ではないだろうか。「①」

^{注1} キーンは「日本人は過去を捨てなかった」と語っていたが、残念ながら、われわれはそうした過去を十分に顧みていないように思う。日本の伝統や歴史にあらためて目を向け、その思想や価値観を現代に反映させて、さらに最新の科学技術に調和させる。^I 地球的課題の解決にも知的な貢献ができるはずだ。「②」

^{II}、日本にもいくつもの課題がある。その最たる例は、人間が人間ではなく制度やシステムを信頼し始めている点ではないだろうか。プロセスではなく成果を重視する時代とも言え換えられるが、これは政治や企業の責任というよりは、日本社会において人びとを結び付けてきた三つの縁、^{III} 血縁、地縁、社縁が消えつつあることに起因する。「無縁社会」とは少し前に流行した言葉だが、その傾向が加速しているのである。「③」

地縁と血縁が^b希薄になっているとはかねてより^オ指テキされているところで、パンデミックでさらなるダメージを受けた。社縁ももはや十分には機能していない。非正規雇用者は四〇％に迫り、昨今の新入社員は三年以内に約三割が転職をするとも聞く。^{IV} 会社にすがりつく時代ではないし、^V 会社にも財力はなく、雇用形態の^c大胆な変革を迫られている。

「④」

従来の縁が失われつつあるならば、これからを生きる世代は新しい縁をつくらなければならない。そのため仕掛けが必要だし、彼ら彼女らもそれを求めている。サッカーW杯があれだけ盛り上がったのも、あるいはアーティストのコンサートに多くの人が集まるのも、瞬間でもいいから人との縁を感じたいという潜在的な欲求もあるだろう。同じ著名人やチームを応援して、皆で叫んだり旗を振り回したりすることは、たしかに気持ちいい。「⑤」

われわれが縁の代わりに手にした象徴の一例がクレジットカードだろう。いまや口座情報をカードにつなげ、さまざまな権利を託している。利用し続ければポイントがつくし、人間の顔よりもカードのほうを見つめている人間もいるかもしれない。しかしカードに基づいた契約社会では、もしも明日にでもシステムが止まればわれわれはたちまち身動きが取れなくなる。他方で、人間同士の関係ならば親族や友人などの信頼が網の目のように張り巡らされているため、突然に消えることはない。その事実こそが安心感を与えてくれるわけで、それがソーシャルキャピタル（社会関係資本）というものだろう。

われわれはいま、インターネットを活用して新しい縁をつくらうとしているが、人と人の縁とはもともと相応の時間をかけて、身体を共鳴させて築かれてきた。しかし、現在の時間の概念と例えば、生産性や効率性ばかりが念頭に置かれている。これもやはり成果主義の弊害に違いないし、世の中の事象すべてが数値に換算されるようになったことで社会は壊れ始めた。この点に関しては日本に限った話ではなく、先進国にB押し¹⁾なべて当てはまるだろう。

新しい縁を築くうえで、われわれはまず数値化しない価値を増やさなければならぬ。たとえば、食物はいま、企業が規格を決めて農生産物を買取り、そこから外れたものは廃棄されている。これは非常にもつたない。斎藤幸平が語る「商品価値から使用価値へ」という言葉にもつながるが、従来の規格に囚われず、生産者と消費者が直接やり取りするかたちにすれば、大量生産も大量廃棄もしなくて済むはずだ。

数値化しない価値の追求は、持続可能性を考えるうえで大きな示唆²⁾を与えてくれるし、社会の仕組みや人と人との関係性を見直す話とも関連する。婉曲的に聞こえるかもしれないが、現在の世の中を覆い尽くす生産性や成長主義をはじめとする西洋近代の価値観に違う視点を与えることが、「新しい縁」を考えることにもつながるはずだ。そのとき、ふたたび^{注2)}西田の言葉を借りれば、数値ではなく「形なきもの」にも価値を見出した日本の思想に大きな可能性が浮上してくる。

「第二のジャポニズムを到来させよ」 山極寿一

(注1) アメリカ出身の日本文学評論家 ドナルド・キーン

(注2) 哲学者 西田幾多郎

問1 傍線部（ア）～（オ）に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ

一つずつ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は ～

（ア） 不可ケツ

- ① 病気でケツ席した。
- ② ケツ出した人物
- ③ 難問を解ケツした
- ④ 業者とケツ託する

（イ） 中ヨウ

- ① 出勤をヨウ請する
- ② 人物のヨウ護
- ③ ゆっくり休ヨウする
- ④ 凡ヨウな人物

（ウ） 明治イ新

- ① 食物織イが多い食べ物
- ② イ安旅行に行く
- ③ 誠イ憾に感じます
- ④ すっかりイ気投合した

（エ） 循カン

- ① 利益をカン元する
- ② 衆人カン視の中で行う
- ③ カン潔な文章
- ④ 古典のカン骨奪胎

（オ） 指テキ

- ① テキ度な運動をする
- ② 互テキ視する
- ③ 公害をテキ発する
- ④ 予想がテキ中した

問2 傍線部 a～e の漢字の読みとして間違っているものを、次の①～⑤の中から一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

- ① 享受 きやうじゆ
- ② 希薄 きはく
- ③ 大胆 だいたん
- ④ 示唆 しきよう
- ⑤ 婉曲的 えんきよくてき

問3 傍線部 A 「紐解く」 ひもと の意味として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

- ① 解明する
- ② 解放する
- ③ 論述する
- ④ 断定する
- ⑤ 説論 せつゆ する

問4 空欄 X

に入れるのに最も適切な語を、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

- ① 客人
- ② 商談
- ③ 家の外
- ④ 里山
- ⑤ 隠居

問5 空欄 Y

に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

- ① 虚構世界と平衡する
- ② 現実世界と融合する
- ③ 現実世界と並行する
- ④ 舞台世界と平行する
- ⑤ 現実世界と対立する

問 6 次にあげる文は、本文中から抜き出したものです。戻すべき適切な箇所を、本文中の〔①〕～〔⑤〕の箇所から一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は 。

しかしそれははたして、信頼のもとに築かれる本物の縁だと言えるだろうか。

問 7 空欄 ～ に入れるのに最も適切な語の組み合わせを、次の①、②、③、④、⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は 。

		I	II	III	IV	V
①	さすれば	もちろん	つまり	もはや	そもそも	そもそも
②	もちろん	さすれば	もはや	そもそも	つまり	つまり
③	つまり	もはや	さすれば	もちろん	そもそも	そもそも
④	もはや	そもそも	もちろん	つまり	さすれば	さすれば
⑤	そもそも	さすれば	つまり	もちろん	もはや	もはや

問 8 傍線部 B「押しなべて」の意味として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は 。

- ① 月並みに
- ② 概して
- ③ 当然のごとく
- ④ すべからず
- ⑤ 敢^あえて言えば

問9 本文の内容に最も合うものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

13

- ① 現在の世界を紐解くキーワードは、二元論と排中律、つまり容中律だといえるのではないか。
- ② 西洋の人形劇は一人で人形を操るが、日本の浄瑠璃は三人で操る所に大きな違いがみられる。
- ③ 日本人の宗教観に一貫性がないのは、日本人には倫理も道徳もともとなかったからである。
- ④ 数値化されない、人と人とのつながりのある縁を、時間を掛けて構築していくべき時である。
- ⑤ 日本を支えてきた日本人同士の「縁」を復活させるには「鎖国」も必要な時が来るであろう。

② 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

『「わかる」という意味』と題した雑文を書いたことがある。長年数多くの研究者と議論をしていると、「物理が良くわかっているなあ」と感心させられる人にしては出会う。その印象は決して私だけでなく他の人たちとも一致していることがほとんどだ。では、我々は何を基準に「物理がわかっている」と判断するのだろうか、近未来のコンピュータは物理が「わかる」のだろうか。そんな疑問をつらつらと考えたのだった。

そこでの結論は、知力といえども結局は記憶力と順列組み合わせの高速処理能力に帰着されそうな気もするし一〇〇・一〇〇〇人程度の共同研究者からなるビッグサイエンスにおいては、一人の人間がすべてを完全に理解することは不可能なので、人間の「わかる」とコンピュータの「わかる」との間に、本質的な差異はない。したがって、コンピュータが物理を「わかる」時代も早晚訪れるだろうというものだった。

それ以降わずか一〇年足らずで、人工知能(AI)をめぐる状況は一変した(研究現場では、ずっと以前から飛躍的進歩を遂げ続けていたのだろうが、一般社会に与えるインパクトという点において)。「本当にわかっている」かどうかはともかく、現時点でのAIですら、我々人間以上に「わかっているとしか思えない」文章や会話を出力してくる。もはや、わかっているかどうかを問うことすら、実際には意味のないA 禅問答になってしまったのかもしれない。

私は「門前の小僧習わぬ経を読む」を、**I** に対する侮蔑的な表現だとばかり思い込んでいた。しかし、繰り返し耳にしていれば**II** だって経が読めるようになるという意味では、**III** の方を軽蔑した言葉と解釈すべきなのかもしれない。同様に、膨大な情報と高速な演算処理能力に支えられた**IV** ならば、**V** 以上に物事が「わかる」ようになることを見抜いた至言ともいえる。まさに「**X**」である。

ChatGPTの書いた文章は**Y** 皮相的に過ぎず、やっぱり人間にはかなわない」といった(希望的観測に基づいた)意見も多く耳にする。仮にそれが正しいとしても、あくまで「現在のAI」に限った感想に過ぎない。小学生の書いた文章を読んで、まだまだ大人には勝てないなあと思うのは自由だが、その小学生は一〇年も経つと確実に大人に成長する。一〇年後はおろか、数年後にはどんな人間も書けないような高度な文章を瞬時に出力するAIが出現する可能性は高い。

そのためか、驚異的なAIの進歩を前に、AIの危険性を訴え、その開発や使用を規制しようとする動きが**① 顕在化**しつつある。同じ人間としてその気持はよく分かるものの、仮に人間がAIに支配されるような社会であろうと、それが現在よりも多くの人間にとって明るい未来となるならば、その実現を阻むのは間違っているのではなからうか。

過剰なAI依存は人間の能力を劣化させるという指摘(恐怖)を認めたとしても、それはAI

の責任というよりも人間の責任というべきである。さらに人間が劣化したとしても、（AI+人間）が現在の人間よりも進歩するならばそれでよい、という考えもあり得る。そもそも、ここまで進化を遂げたAIの使用を規制することは、もはや現実的にも不可能だ。いくら規制しようが、それをすり抜ける個人、団体、国家が存在することは避けられない。その結果として、「真面目に規制を遵守した側」が「規制を守らない側」に駆逐されかねない。

とすれば、AIと人間が共生できる社会の実現のために、人間中心主義を転換して、AI側に人間の存在価値を認めてもらえるような努力をすべきではあるまいか。というわけで、以下では、いくつかの項目ごとにAIとのBウィン・ウイン的共生のあり方を論じてみたい。

教育

AIはZ。教室での一斉授業では、その進度についていけない、あるいは逆にものたりない生徒がかなりの割合で存在する。そのために、ドロップアウトしたり、家庭教師や塾を利用したりする生徒が少なくない。しかし本来はそれらが②不要な公的教育制度をめざすであるべきにもかかわらず、日本では社会全体として容認されている。その結果、経済格差が教育格差を生んでしまっている現状は是正すべきだ。

すでに義務教育ではデジタル教科書の採用に伴って、生徒全員にタブレット端末一台を支給することになっている。それを最大限活用しない手はない。特に日本の義務教育課程のように、検定教科書で学ぶべき内容が明確に決まっている場合、それを各生徒の達成度に合わせて適切なスピードで何度も繰り返し教えるAIの作成は極めて容易である。のみならずAIなら、その生徒一人一人に特化した二四時間不眠不休かつ無料の家庭教師としてカスタマイズ可能だ。学校で高速インターネット環境を開放し、放課後も希望する生徒が教室に残り、思う存分学べる機会を提供する場とすれば良い。そのために③必要なコストは殆どない。

すでにChatGPTを用いた無料英会話家庭教師のアプリが実現しているらしい。英会話に限らず、外国語学習には福音だ。

このような無料AIアプリの普及によって、家庭教師、塾、英会話教室といった日本で確立してきたシステムは早晩廃れてしまうであろう。関係者の皆さまには失礼ながら、それは必ずしも悪いことではないように思う。

それどころか、正規の学校教育における教員の役割も必然的に変化する。生徒を教室に集めて一方的に講義を聴かせるスタイルは、忠実で従順な市民を生み出す狙いで考案されたそうだが、万人に等しく教育を提供する効率的な方法だったのも事実だ。しかし、インターネットの普及に伴い、YouTube 動画での無料授業など、多様な学びの機会が生まれている。AI家庭教師はその自然な延長線上にある。とすれば、現場の学校での教員は教室内を巡回し、生徒にAI家庭教師の

利用法を教え、質問に答えることに専念すればよい（登校困難な生徒であろうと適切な教育を受けることもできる）。一方、（現時点では）AIが苦手な体育、技術家庭、音楽、美術、などの教科は教員が担当し、適宜AIにサポートしてもらえばよい。その結果、最近大きな問題となっている教員の過剰労働は大幅に改善されるだろう。

研究

AIを「利用して」研究を進めるのは、もはや当たり前だ。ノイズに埋もれた信号の検出、大量のデータの一次処理などは、AIがもつとも得意とするところである。のみならず、AIに④未知の発見を追体験させる試みも、盛んに行われている。やがては、大量の実験・観測データから、それらの背後に潜む⑤未知の物理法則を、しかも具体的な方程式の形で提示してくれるようになるだろう。

さらにその先には、AIの「指導のもとに」研究を進める時代が待っている。AIは与えられた問題を計算することはできるが自ら問題を発見する創造力がない、と考え（たが）る人々もいるようだが、決して証明されたわけではない。一部の天才を除けば、平均的研究者は自らの知識と経験を組み合わせ、自分が正しいと予想するいくつかの仮説やモデルを実際に検証するという過程を踏んでいる。優れた研究者とは、なぜか鋭い感覚を持っているおかげで正しい仮説にいち早く到達できるだけだとすれば、ありとあらゆる可能性を直ちに網羅した上で、それらの可能性の高さを点数化しリストアップしてくれるAIは、高い創造性を持つ優れた研究者そのものである。

大学院生として研究室に入り、当初は指導教員のアイデアに従って研究を進めながら経験を積み、やがて独り立ちして自らのアイデアをもとに学生を指導するのが標準的な研究者キャリアであるならば、指導教員がAIに変わっただけで、何も違いはなさそうだ。AIに指導されるのでは独創的な研究者は生まれえない、などの意見も単なる偏見だろう。それどころか、近い将来、AIよりも優れたアイデアを提案できる独創的人間のほうが少なくなっているのではあるまいか。

初めて正しいアイデアを提案した研究者に高い評価を与えるのが現在の科学界のしきたりであるが、やがてその先取権のほとんどがAIに帰着するとすれば、むしろそのアイデアを実験あるいは観測で最初に証明した人間（少なくとも当面、この作業は人間の助けなしにAIには実行困難あるいは高コストであろう）を評価する、という価値観の変革がおこるだけではないだろうか。少なくとも、科学の進歩という観点を最優先するとすれば、指導教員が人間かAIかを区別するべきではない。

医療

教育以上に期待できるのは、医療である。新型コロナウイルスの場合からも明らかのように、多数の患者が集まる現場としての病院は、患者と医療従事者の双方にとって高いリスクがある。また、熟練した専門医でない限り、症状から病気の原因を突き止めることが困難な例は数多い。その最初の入り口となる診断をAIに任せることは、医師の過剰労働と過疎地での医師不足を同時に解消する切り札となる。

最近、インターネットで検索した結果を C 呑みにして、勝手に病名を思い込んで来る患者の対応に苦慮している医師が少なくないと聞く。しかし、数多くの症状から既知の病気を推定する作業は、AIが最も得意とするものである。平均的医師の診断力を超えるAIの出現は目の前だろう。AIができることは極力AIに任せ、医師はAIができないような作業にのみ専念すべきである。

その意味で医療現場でより重要となるのは、患者と直接接して医療行為をする看護師や検査技師である。そのような高度な行為が可能なAIロボットが完成するのも時間の問題ではあるが、その場合に優先されるのはコストである。もしAI医療ロボットの製作と維持に膨大な費用がかかるのならば、人間にまかせるほうが経済的だという判断に落ち着くはずだ。

医療に限らず、今後はチップな労働力という観点から人間の存在価値が再評価されるかもしれない。人間中心主義的な現在の我々の価値観からは耐え難いように思えるが、合理性という観点からはまさにそれこそがAIと人間の共生社会なのではあるまいか。

科学研究や医療などは時代とともに進歩する。それらは、先人が発見した成果を起点として活用し、さらにその先を目指すことで発展を遂げ続けることができる。まさに「巨人の肩に立つ」だ。それを良しとするならば、進歩を主導するのが人間である必然性はない。AIがより優れているのであれば、むしろできる限りAIに任せるべきであると主張した理由はまさにそこにある。

「門前のAI習わぬ経を読む」須藤靖

問1 傍線部A「禅問答」について、この文章での意味として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

- ① ちぐはぐで分かりにくいやり取り
- ② 禅の奥義を極めた師弟間の議論
- ③ 単純な真理を故意に隠蔽すること
- ④ 難解な問題を卑近な例で教えること
- ⑤ 理性を失った激情的な水掛け論争

問2 空欄 ～ に入れるのに最も適切な語を、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つ

ずつ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。（選択肢の重複使用は不可とする）

解答番号は

- ① A I
- ② 誰
- ③ 小僧
- ④ 人間
- ⑤ 和尚

問3 空欄 に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

- ① 百聞は一見に如かず
- ② 読書百遍意自ずから通ず
- ③ 眼光紙背に徹す
- ④ 千里の道も一歩から
- ⑤ 一を聞いて十を知る

問4 空欄 には「しよせん」という語が漢字で入っていた。その語を、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

- ① 所謂
- ② 所以
- ③ 初先
- ④ 所詮
- ⑤ 緒選

問5 傍線部B「ウィン・ウィン」について、この文章での意味として最も不適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

- ① 互恵
- ② ギブアンドテイク
- ③ 相互利益
- ④ 得手勝手
- ⑤ 共存共栄

問6 空欄 には「教育」という小題の内容を端的にまとめた語句が入っていた。その語句を、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。

解答番号は

- ① 教師の負担を軽減する利点はあるが、師弟間の直性交流を妨げる欠点もある。
- ② 教育のコスト削減には貢献するが、教育機会の不公平を生む可能性もある。
- ③ 教育のコストを格段に下げ、教育機会の不平等を解消する大きな切り札だ。
- ④ 教育格差と経済格差を解消し、貧富の差自体も是正できる画期的発明である。
- ⑤ 生徒に合わせた細かい教育を実現できるが、教師の職を奪う両刃の剣である。

問7 傍線部①～⑤の語のうちに、明らかに間違った語に書き換えられているものがある。その語を、①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。

解答番号は

問8 空欄C 「呑みにして」の空欄に入れる語として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

- ① 蛇
- ② 蛙
- ③ 鳥
- ④ 鶉
- ⑤ 鯨

問9 本文の筆者の意見(主張)として最も適切なものを、次の①～⑦のうちから一つ選び、解答用紙の所定の箇所にマークしなさい。解答番号は

26

- ① AIの進歩と普及は、教育の面では多大な貢献を期待できるが、医療の世界での導入には慎重であるべきだ。
- ② AIの無制限な進歩は、現時点では様々なメリットがあるが、将来人間をも支配する危険性を孕むものである。
- ③ AIが持つ現時点での欠点も将来改善される可能性が高く、これからは人類との共存を模索していくべきだ。
- ④ AIは現状では人間に及ばない点はあるが、近い将来あらゆる面で人間を超える神のような存在となるだろう。
- ⑤ AIは様々な分野で人間の能力を凌駕するが、「研究」の分野だけは人間に取って代わることは出来ないだろう。